

消防吏員用編上安全靴仕様書

熱海市消防本部

1. 適用範囲

本仕様書は、消防吏員用及び消防団員用において購入する、革製長編上安全靴（以下「靴」という）について規定する。

2. 製法及び種類

2-1) 製法

靴の製法は、合成ゴム 2 層底のラバーテック式製法（V 式）による。

2-2) 種類

靴の種類は、JIS T 8101 の普通作業用（記号 S）とし、付加的性能、耐踏抜き性（記号 P）かかと部の衝撃吸収性（記号 E）とする。又、静電気帯防止性能は JIS T 8103 の（記号 AS-P）とする。

3. 型式

靴の型式は、ファスナー付長編上靴とする。（図-1）

4. 各部の名称及び主要材料

4-1) 各部の名称

各部の名称は、図-1 及び表-5 による。

4-2) 主要材料

(1) 甲革

甲革は、牛クロムなめし法により製造し、JIS T 8101 の規格により試験し表-1 の規定に適合した牛クロム革を用いる。

表-1

試験項目		規格
銀面割れ	力 (N)	150 以上
	突き上げ高さ (mm)	6 以上
厚さ	(mm)	1.7±0.2
クロム含有量	(%)	30～5.5

(2) 甲縫糸

甲縫糸は太さ及びより方は均等なもので、使用目的に適合したものを使用する。

(3) 先芯

先芯は、性能、規格を満足する材料を用いるものとし、表面は全て平滑に仕上げ、へりかどにまるみをつけ、表-2 の製品性能に適合した特殊樹脂先芯を用いる。(先芯の重量は、大サイズ用で 95g/足以下とする。)

表-2

項目	規格	試験方法
耐圧迫性能	サイズ (足長) スキマ (mm) 23.0 以下 12.5 以上	JIS T 8101 の 8.2 による
耐衝撃性能	23.5~24.5 13.0 以上 25.0~25.5 13.5 以上 26.0~27.0 14.0 以上 27.5~28.5 14.5 以上 29.0 以上 15.0 以上	JIS T 8101 の 8.1 による

(注) スキマ・・・中底と先しんのすきま

(4) 中底

中底は、屈壊性、吸収湿性に富み、使用条件に適合する素材を用いる。

(5) 表底

表底は滑り止め効果のある意匠 (図-2) とし、JIS T 8101 の規定により試験し、表-3 の規定に適合した耐油性合成ゴムを用いる。

表-3

項目	規格値
引張強さ MPa	14 以上
伸び (%)	300 以上
引裂強さ N/mm	35 以上
老化 (引張強さの変化率) (%)	-15~+15
浸せき試験 (体積変化率) (%)	12 以下

(6) 全敷

全敷は、カップインソールの使用により、足のフィット性に富み、通気性が靴内部熱気の循環を良くし、ムレ感を和らげる全敷を用いる。また、全敷の踵部に衝撃吸収材を装着する。

(7) 付属品

屈紐等の付属品は、使用目的に適合したものを使用する。

5. 構造及び寸法

5-1) 構造

靴の構造は、爪先に特殊樹脂先芯を装着し、アキレス腱保護のために履口部にクッションを取り付けた構造とし、耐踏抜き防止を目的にステンレス、バネ鋼を内装する。表裏は、2層構造（アウトソールは耐油性合成ゴム、ミッドソールは発泡合成ゴム）とし、耐滑性、屈壊性、泥づまり防止を加味した意匠とする。

(図-1.2) また、靴底には、静電気を除去する目的の静電気帯電防止機能がある構造とする。

5-2) 寸法